

2015年度3年次編入学試験「専門試験」「小論文」等の狙い・意図・採点のポイント

学科・専攻	専門試験(芸術学科は小論文)	面接	
	狙い・意図	狙い・意図	専門試験作品利用
日本画		<作品提出:50号以上2点以内、ポートフォリオなど> 提出作品から、表現力、発想力、および色彩感覚を総合的に判断。面接では、本学志望理由、小論文を参考に判断した。	●
油 画		提出した作品が当該学年に相当する技術力・表現力を持ちえているか。大学編入後のビジョンはあるか。普段どのような意図で制作しているか。美術についてどのようなことを考えているか。多摩美術大学を選んだ理由が明確かどうか等を総合的に判断して採点を行った。	●
版画			
彫刻			
工 芸		なぜ本学の工芸学科を選んだのか。そして何を学びたいのか。将来の展望などについて熱意と説得力のある答えを望む。 これまで学んだ専門分野での到達度と、さらに今後の本学での専門授業に対応する力をみるため、これまでの研鑽の蓄積がうかがえるファイルや資料の充実を望む。 また、人物から受ける熱意などもあわせて判断する。	●
グラフィックデザイン	<ul style="list-style-type: none"> 理解力 問題の把握、理解が正しいか 伝達力 問題の目的や状況を正確に表現しているか 発想力 問題を造形化するアイデアが優れているか 描写力 構図、形、動き、光、量感などを描写することに必要な技術が優れているか 個性 デッサンからうかがえる品格、感性に優れているか 3年次に相当する能力を有するか 	<ul style="list-style-type: none"> 編入学志望理由が明確であるか 授業への取り組みの意欲があるか 持参作品による色彩・構成などの基礎的造形力や描写力の評価(持参作品を重視する傾向にあります) 	×
プロダクトデザイン	<ul style="list-style-type: none"> 理解力=問題の把握、理解が適切か 発想力=アイデアが優れているか 独創性=他にないアイデアか 実現力=アイデア具体化方法の知識があるか 表現力=アイデアが伝わる表現か 3年次に相当する能力を有するか 	<ul style="list-style-type: none"> 3年次相当の実技力があるか 本専攻の内容を理解しているか 本専攻への入学意図は明確か 自分の意見を述べられるか 学習意欲が感じられるか 	×
テキスタイルデザイン	テキスタイルデザインを学ぶために必要な色彩感覚とデザイン力を問うことをねらいとして出題した。また、色彩表現に留意した上で、独自の格子模様が透明感をもって美しく描かれているかを採点のポイントとした。	受験者が本専攻の基礎課程(1,2年次)と同等の教育課程を修得しているか、また、3年次からの授業についていけるかどうかを持参作品によって審査した。さらに、口頭で自分の考えやテキスタイルデザインを学ぶための熱意を明確に説明できるかも評価の対象とし、採点のポイントとした。	×
環境デザイン			
情報デザイン メディア芸術コース		面接試験のねらいは以下の能力をみることにある。採点のポイントはこれらを総合して判断する。 ・面接時の態度、言葉遣いをふくめたコミュニケーション力。 ・提出作品の内容。 ・提出作品の内容を限られた時間内にうまく伝えられるプレゼンテーション力。 ・編入後、および将来的な展望や計画が、当学科・コースに即しているか。	●
情報デザイン 情報デザインコース		<ol style="list-style-type: none"> 1. 作品は水準以上の質を保っているか 2. 作品プレゼンテーションは的確か 3. 入学後の具体的なイメージはあるか 4. 卒業後のビジョンはあるか 	●
芸術	出題内容を正確に理解し、論述の着眼点が的確であるか、論旨は明確で説得力があるか、文章を構成し、まとめる力があるか、といった点が判断基準となります。常識的にまとめあげた文章より、テーマに踏み込んだ独自の発想を期待しています。	芸術学科で何を学びたいか、受験生の知的好奇心や学業および芸術への熱意、卒論で何を書きたいか、将来の展望等を質問し判定します。	×

全学科共通小論文

- 1) 題:「ハイテク社会の美術」という題で、あなたの専攻領域をふまえて800字程度の文章を書きなさい。
- 2) 現代社会における高度な科学技術の発展をふまえて、それと美術がどう向き合っていくのかなど、それぞれの専門領域を意識しつつ考えているか否か。
- 3) 文章が論理的であるか否か。具体的な事例をあげて述べられていると分かりやすいし、編入の意欲と目的意識が明確であることが望ましい。